

2013年 夏季研修会 **参加された方のアンケートから**

大阪府支援教育研究会 2013年8月5日 たかつガーデン

全体会

「愛着に課題のある子の理解と支援」 伊丹 昌一氏

講座の感想など

- ・「困っていることに気付けば即支援」をする為には、まずその子の困り感に気付ける知識を持つこと。子どものわがままと片付けられたり、診断の有無で判断したりしている職場の人たちにもこの講座を聞いてほしかったです。伊丹先生から活力を頂いたので、少し勇気を持って伝えていきたいと思います。もっと聞きたかったです。ユーモアたっぷりのお話、楽しかったです。
- ・とても勉強になりました。いつも思っていたのは、愛着障がいの子は発達障がいの子に比べて同じ「障がい」と名がつくわりに支援されていない（環境がない、放置？）と思っていました。今日のお話を聞いて、「困っている子に支援」という言葉でなるほど！と思いました。支援学級の在り方を今後変えていこうと思います。在籍児のための支援学級ではなく困っている子のための支援学級だと。
- ・今日はありがとうございました。伊丹先生のお話をもっと聞いていたいと思う程、全てすっと頭に入ってきました。今、支援学級担任ですが、支援を必要とする子は在籍の子だけでなく通常学級にもたくさんいて、私たち教師は全員、困っている子の理解と支援方法を勉強するべきだと改めて思いました。最後に先生がおっしゃったように、全ての子どもが大人になったとき、楽しい自立生活が送れるように今の小学校教育があるのだと思って、そういう視点で教育していきたいと思います。
- ・とても具体的にお話して下さい、これから使えそうでした。ただ、学校の中では時間の制限があり、できるまで待つてあげることがなかなかできないのが残念です。けれどその中でも自己評価を高めていける支援をしていこうと気持ちを新たにしました。ありがとうございました。
- ・伊丹先生のお話はいつも具体的でわかりやすく、力を抜きつつ核心に迫っているので、うなずきつつ子どもの顔を思い出しつつ聞かせて頂きました。これからも機会ある毎にお話しお聞きしたいです。
- ・いつもながら楽しく、よく分かる講演ありがとうございました。私も今、愛着についてとても気になっているので、とても勉強になりました。

- ・元気づけていただきました。事例もそうでしたし、具体的にどんなときにどうとらえればいいのか「きっかけ」「行動」「結果」など、自分のこれまでの視点や考え、指導を見直す、改めさせられるお話でした。また、どこかの機会にお話聞かせていただきたいと思いました。子どもの前で、笑顔で笑顔を引き出す、真逆を即答する、肝に銘じておきます。
- ・本当によくわかる話でした。自分が前に学んだカウンセリングスキルをしっかりと思い起こし、使っていきたいと思います。
- ・発達障がい児の日々の支援には本当に私自身も悩み悩み、どうしても結果を求めた支援をしてしまいがちです。でも、結果を求めてはダメ！先生自分自身を責めないで！リラックス！という伊丹先生の言葉に改めて納得し、少し張っていた気持ちが楽になりました。支援者の目指す方向、指導の仕方をどう変えるという具体的な事例が提示され、とても分かりやすかったです。2学期からチャレンジして、他の先生方にも伝えていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・客観的な事例で、行動を考えていくこと、そこに基づいて保護者に伝えること、ずっしりと私の心に刻み込まれました。主観が入りすぎている自分にはっとさせられました。
- ・近頃、カウンセラーの先生に相談しても「反応性愛着障がい」といわれることがとて多くなりました。学校内でケース会議を持つ子にもこのタイプの子が多くて頭を悩ませていました。今日の話聞いて参考にできそうなこともたくさんあったので、校内の他の教師にも話していこうと思います。ありがとうございました。
- ・笑いを交えてリラクゼーション。よく分かりました。1件、通告義務を果たせてない件を思い出しました。通告する勇気！！
- ・おもしろかったです。時折、写真が入っていてリラックスできました。叱り方、むずかしいですね。肯定的に叱る、いつも否定的になってしまっているのも、実践を重ね、がんばります。
- ・愛着に課題を抱えた子の親にどういう方法で「愛を注いでください」伝えることばかり考えていました。伊丹先生のお話を聞いて、教師はそれだけでなく、教師の役割を見つめ直すことができました。ありがとうございました。
- ・施設があり、ネグレクト虐待の子も通う小学校にいます。ここで初めて愛着障がいという言葉聞き、何だろう？とっていました。その子たちが反抗して、まわりの子どもたちがびくびくしている時もあるように思います。担任ではないので、どのように接すればよいのかと遠くからいつも考えていました。うちの学校の先生みんなが聞いたかったと思うであろう内容でした。また私のもっている子に通じる話も多くありました。
- ・お人柄が出た、とてもよく理解できる内容でした。何度聞かせていただいても新鮮です。
- ・具体的な手法も多く、何より聞いていてやる気と元気が出て「2学期こんなことをしてみよう」といろいろアイデアが出てきました。たくさん考えました。

- ・現場でもすぐに実践できそうなことも多く、生徒の顔を思いうかべて、〇〇さんはこんなふうに声かけをしようとか、次やっていくことが目の前に浮かんできます。支援学級をもって2年目なのでまだまだ学ぶことがたくさんあり、今やるべきこともわからない状態ですが、お話を聞いて少しずつがんばれそうです。ありがとうございました。
- ・私の学校でも愛着障がいだといわれる生徒が何人かいます。注意するときはいつ否定的になります。肯定的に注意をするようにという事なので、少し練習しておかなければと思いました。
- ・色々な対処法、支援法を聞くことができ、2時間があっという間でした。今や生徒指導というより支援、その通りだなと感じます。生徒指導部との連携を、と思っているので、とてもわかりやすいお話でした。日頃から肯定的な注意を心がけてはいるのですが、次第に感情的になり否定的な言葉を使ってしまっています。今回改めて日頃の子どもの関わり方を反省すると共に2学期からは今回のお話を活かした関わり方ができたらと思います。
- ・伊丹先生のお話を7年ぶりに聞きました。当時は大学を出たばかりで右も左もわからない時でしたが、時が経ち、そうそう！！と思えることばかり。そして今、先生から聞いて実践していることを他の先生に伝える立場にいます。「自分のせいにはいけない」「障がいを理由にしない」など、もっと適切に伝えないと・・・と思いました。
- ・楽しい講義でしたが、子どもたちに向き合うヒントをたくさんいただくことができました。ありがとうございました。
- ・支援は、障がいの有無ではなく、子どもが支援を必要としていることが特別支援であるということが深く残りました。これからはイラッとしても全否定を全肯定で返していこうと思います。
- ・子どもからの暴言に心が折れそうになることもあった1学期でしたが、自分の言葉かけに未熟さがあったことを知り、2学期からは笑顔と肯定的な言葉かけ返しで子どもと接していきたいなあと思いました。ありがとうございました。
- ・私が担任する子どもの中にも虐待のケースがあり、今日お話して下さった事がとても参考になりました。特に保護者対応については、自分の経験の中で、そうだなと納得できるお話で、自分自身の役割についても再認識できて良かったです。
- ・昨年度、愛着に課題があったような生徒を受け持ったので、昨年度の振り返りをしながら聞くことができました。ABAの話はこれからもっと活用できるようにしたいです。最後のスライドで出てきた「どんなときに少年たちは変わったか？」で、自分のクラスのこの生徒に置き換えたときに結構当てはまる事が多くて、この生徒も相当変わって卒業していったのだなあと思いました。
- ・講演を聞いている時にも「否定的な言葉使っているな」とか「なんで広い心が持てないんだろう」とか、ついつい自分を攻撃してしまっているようです。支援する側が余裕を持ってニコニコ笑顔で支援できるよう、鏡を見て頑張りたいと思います。

分科会

「教育相談の極意（演習）」伊丹 昌一氏

講座の感想など

- ・ 午前から続いて聴いたので、とても分かりやすかった。教育相談は、子どもの支援のあり方を見極め課題を達成するのに非常に重要なことなので、お話しは全てとても参考になった。悩める親を支えることで、その家族・子どもに笑顔を取り戻すことができるのは、すばらしいことだと思った。これからも勉強を続け、役に立つ教師になっていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 教育相談についての研修をはじめて受けさせていただきました。相手の方に寄り添って気持ちを共有し笑顔で接する（悩み・怒りの時は別ですが…）ことの大切さを実感しました。今日のお話で、保護者の方の心がほぐれることで子どもたちが笑顔になっていく様子を思い浮かべることができました。少しでもできるようになりたいと思います。
- ・ とても楽しい研修でした。睡魔のない研修は久々です。教育相談の練習を疲れないう程度にがんばります。
- ・ 懇談などで保護者から相談されることがありますが、「自分はまだ若いし結婚もしていないし、何もよう言わんわ」と思うことも多々ありました。しかし、言わないといけないことは、きちんと伝えなければならないし、共感もするときはしていけないといけないんだという気になれました。ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。支援学級担任です。懇談会では受けもっている子どもも少ないということで、子ども一人1時間の予定を組んでいます。うまく話を切れないと1時間30分ということもあります。ほとんどお母さんの話を聞いて終わっています。が、まあいいか!!といつも思っています。この事が良いのか悪いのか?今日の話を参考にし、これからの対応に生かして頂きたいと思いました。
- ・ 最近保護者対応をする中で困ることがあるが、伊丹先生の講演はそれをびったり解決出来るだろうお話でした。いろいろな保護者の型分けにより、こちらの対応も変わっていかなければいけないこと、カウンセリングは教師だからできることもあるということを知ったように思います。新しい視点で新鮮な気持ちで研修ができました。ありがとうございました。
- ・ 正直、少し、初任の私には難しいと思いました。でもこれから練習は重ねたいと思います。困っている保護者はたくさんいて、その保護者の声を心から受け止め、内面に迫っていける教師になりたいと思います。今日は本当に、楽しく学ぶことができました。

- ・ 私自身、今悩んでいることに前向きに取り組んでいこうという気持ちになったこと、そして、その具体的な方策を教えてもらえて大変有意義でした。先生方同士の教育相談の練習は、その話の内容に共感できることばかりだったので、意識しないと先生が教えて下さったことを取り入れることは難しかったです。現実の中で…意識してやっていきます。時間があつというまにすぎて、びっくりしています。
- ・ 分かりやすい内容で教育相談に対する認識をさらに強めることになった。子どもだけではなく、保護者に寄り添う術、大切さを強く感じる事ができたことは良かった。二学期から保護者との教育相談が増えてくるので活かしていきたいと思う。
- ・ 午前もそうだったのですが、伊丹先生のお話はずっときいていたいと思うくらい魅力的なものでした。私自身、今、二人の子育てをしていて、教師という職業をしていながら、わが子の子育てにも自信が持てず悩んでいる日々です。最後の「全ては子どもたちの笑顔のために」のところで、そういえば、子どもに「ママ、怒らんといて」と日々言われてるなと思い（反省）、涙が出そうになりました。自分自身にカウンセリングマインドを持って向き合いたいと思います。今日は、母としても勉強になりました。
- ・ ひたすら、むずかし〜いと感じました。ここまで保護者支援ができれば、すごい！！と思います。がんばって勉強してみます。
- ・ 具体的な方策を教えていただけで良かったです。保護者のタイプ別で対応の方法を変えることが分かり勉強になりました。
- ・ 向き合う子どもたちであっても、支えるのは子どもたちと保護者であることを確認しました。保護者を支えることが、子どもたちにとっても大切であることは分かっている、なかなか否定的なことばかりを伝えるが多かった自分を見直すことができました。また、出来ることと出来ないことをはっきりさせる、自分を大切にすることも今の自分を勇気づけることが出来て良かったです。
- ・ 今年度、初めて支援担をすることになりました。今日、先生のお話をうかがって、保護者との話、少し自信を持ってできるような気がします。これは支援の保護者だけでなく、すべての方に対応出来ることなので、これからも勉強していきたいと思いました。
- ・ ユーモアを交えたお話、とっても役に立ちました。親と共に向き合って共通理解することが大切だということを改めて感じました。教育相談を苦手にせず、子どもたちのために力をつけていきたいなあと思います。
- ・ 難しい講演でした。いざ保護者を前にすると、ズバツと言うべきことがなかなか言えない。保護者が障がいをもっておられたら、精神的な病気をもっておられたら、その他の家族の人に援助してもらえない等、うまくいかないケースが多いです。
- ・ 教育相談というむずかしい（私にとって）分野でしたが、演習も含め、とてもいねいに教えて頂き有意義でした。笑顔を忘れず傾聴・受容・共感を大切にがんばろうと思いました。

- 他の先生方とお話しして、きいてもらって、きいて、とても心が軽くなりました。同じように共感してもらえるのは、ありがたいですね。臨床心理、ちょっと興味がありましたが、独学でもいいから学んでみたらという言葉に、やってみようかなと前向きに思いました。「笑顔」つついなくなりますが、意識したいと思います。
- 人の話を聞いてうなづくことはできたのですが、同じように動くことや、相手の気持ちを繰り返し言うことは難しいなと感じました。いつも話を聞くときに考えていなかったことをたくさん教えていただいたので、全部はできないけれど、一つずつ実践してみようと思いました。
- 実際の演習がとても勉強になりました。自分が相手の気持ちに寄り添えているのか、それを相手に伝えられているのか、考えながらしました。とても難しく、初めて会った方と話し合うのも苦手ですが、このような場で経験し、練習させていただいたことは有難いです。
- 伊丹先生の話は初めて聞きましたが、とても良かった。カウンセリングの具体的なやり方、マインド等とても参考になった。もっと聞きたい。
- 教育相談の極意について、詳しく話して頂きました。しかし学校現場の中での体制作りという大きな課題が残されているなあと感じました。学校の教師が、どこまで関わっていけばいいのか日々悩んでおりますが、少しでも親御さんの気持ちに寄り添い、共に解決に向けて話していければとおもいます。ありがとうございました。
- カウンセリングについては感情を繰り返すなど、実践してみると難しい事ばかりでしたが、たくさんを学べました。ありがとうございました。
- 保護者の支援は、経験年数の浅い自分にとってはとても難しいと感じましたが、経験を積み重ねて、しっかりと傾聴できるようになりたいと思いました。
- 保護者対応（＝支援）の際のいろいろな話や実習、もっともっと実習をやってみたいと思います。パターンがいくつもあって難しそうですが、分かっていたいと思いました。
- 保護者の対応はとてもむずかしいです。色々な方がおられるので、その事を理解することから進めていくということが、大事だと分かりました。
- 午後の教育相談については、以前にもうかがった内容と重なる部分もありましたが、保護者のタイプ別の支援の仕方についての部分が新しく盛り込まれていたので、分かりやすかったと思います。現場で他の先生方へも伝えて、学校全体で教育相談のレベルアップを勧めていきたいです。
- かなり専門的な内容ではあったが、分かりやすく説明いただきよく理解出来た。しかし難しいですね。なかなか親の心を取り込めないです。
- 教育相談の極意、保護者のタイプ別の対応について、大変参考になりました。特に保護者のタイプ別の対応については、勤務校の課題として取りあげられることが多いので、早速校内で今日のお話の内容を共有したいです。

- ・ 一番印象に残ったことは、「あなたは愛されている」、これを与えるのが教師の役割というものです。子どもにも、保護者にもこんなメッセージを發せていけたらなあと思います。話を聴くのは難しいですね。練習を積んでいきたいと思います。
- ・ 演習はすごく身につけてためになりました。ありがとうございました。また、次も伊丹先生のお話を聞きたいです。来年もよろしくお願ひします。
- ・ 午前午後の話、とても勇気づけていただきました。子どもが、保護者が、教師が笑顔になれるような教師になりたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 聴き方演習良かったです。傾聴することの難しさを痛感しました。伊丹先生の話をもとに保護者の話を聴いて。かなりの練習が必要ですが。

教材製作研修

象の会 朝井 翔二氏、松永 榮一氏、内藤 壽氏

感想など

- ・ 至れり尽くせりで材料を準備して頂いて、素敵な教材を作ることが出来ました。本を見るだけでは完成できなかったと思います。2学期に子どもたちに見せるのが楽しみです。ありがとうございました。(パタパタ、扇なかぶ)
- ・ 楽しみながらできました。でも、すごく難しかったです。ていねいに教えて下さってありがとうございました。本ではできないと思いました。(ぱたぱた、扇なかぶ)
- ・ 象の会の皆様ありがとうございました。ていねいに教えていただきました。机間支援のありがたさ。難しいところもありましたが両隣が励ましてくれました。ありがとうございました。両面テープのゴミが多く、入り口で教材の持ち帰りに用にと頂いた袋をゴミ袋として机にはりつけました。ゴミ回収、クリップ回収を先生方(役員)にさせるのは違うと思います。子どもにも自分で片付けるようにと普段言っているので持ち帰らせても良いのでは？(数字の歌、扇なかぶ)
- ・ とっても楽しくできました。ちゃんと話を聞いているつもりでも間違えたりして、生徒の気持ちも少しわかったりしました。完成品はあまり上手ではなかったけど自分がつくったものだと愛着がわきます。ありがとうございました。(パタパタ、扇なかぶ)
- ・ ありがとうございました。かわいい絵と素晴らしい教材。若干苦しみながらの製作ですが楽しくやらしていただきました。(パタパタ、扇なかぶ)

- ・ 絵図と口頭でとても分かりやすく説明してくださるのに、いざ作っていると聞いた通りにできていない。それでも分かるように根気強く聞けば即対応してくださって感謝、感謝です。(パタパタ、いないいないバー)
- ・ 今日、楽しく作業しながら、教材作りができとてもよかったです。ご親切、丁寧に指導していただきまして本当にありがとうございました。2学期に子どもたちの反応が楽しみです。(かんたん魚釣り、鬼やらい)
- ・ 一つずついねいに教えていただいたので私にもできました。絵のすばらしさにもいつも感動しています。たくさん用意して下さいうれしかったです。(パタパタ)
- ・ むずかしいところをすべてやって下さっていたので、ありがたかったです。いろんな場面で使えそうで楽しみです。アフターケアまでありがとうございました。(鬼やらい)
- ・ 2学期からすぐに使える教材を作ることができ、とても充実した研修となりました。ありがとうございました。(数字の歌、鬼やらい)
- ・ 声を録音して再生できる機能がほしくて参加しました。こんな立派な物を頂けるなんて数字の歌でも鬼やらいでもいろいろな使い方の想像でき、日常で使うのが楽しみになりました。(数字の歌、鬼やらい)
- ・ 是非作りたと思って参加、ついに作ることができて満足です。子どもが「えっ!?なんで?」という顔をして見そうで、今から楽しみです。今年で最後。残念だけれどこれからもいっぱいおもちゃ教材を作っていきます。(数字の歌、鬼やらい)
- ・ 毎年この教材製作の研修をとっても楽しみにしていました。象の会の先生方が作ってこられた教材は子ども達の宝ものになります。それを広くこのような形で紹介して頂けることにとても感謝しています。今後もよりたくさんの先生に伝え広めていただけることを強く望みます。鬼やらいは数年前のこの会で実物を見せていただいたように記憶しています。そのときもすごいと思っていました。簡単な作業だけで仕上がるように配慮していただき事前の準備をたくさんして頂きありがとうございました。(鬼やらい)
- ・ 水道管カバーは子どもたちが振り回しても危なくなくいい素材だと思いました。講師の先生方の素材の使い方、見つけ方はすばらしいと思います。参考になりました。
- ・ 自分で基盤をうまく作れないので助かりました。いろんな声を録音できるのでいろいろ楽しめそうです。(かんたん魚釣り、鬼やらい)

夏季研修会 運営等についてのアンケート

(ありがとうございました、勉強になりました、役員の皆様お疲れ様、
など同じような意見が多くありました。主なもののみ掲載しています)

研修会の運営について

- ・ ネットでの参加申し込み、大変スムーズでした。すぐに返信いただき安心できました。
- ・ 伊丹先生のお話が聞けてとても良かったです。支援関係の先生だけでなく通常学級の先生方にも聞ける機会を作ってほしいと思いました。
- ・ 数に限りがあったのでひやひやしました。
- ・ 申し込みのHPが黒い。怖い。裏サイトのよう。改善求む。
- ・ 私のミスで返信メールが届かなかったのに、すぐに学校にFAXしていただいたこと感謝しています。
- ・ 府の支援研は、毎回参加したいと思っていますが、市との研修が重なると…その辺の調整は難しいでしょうか？
- ・ 分科会、もう少し定員を増やせないですか？適正規模だとは思いますが、受けられない人もいたらしいので。
- ・ スムーズに運営されていて良いと思います。
- ・ 先に来られた方の席とりはどうかと思いました。
- ・ 午前、午後、共に良かったです。
- ・ 参加を申し込んだが人数オーバーで断られた友人がいたので残念でした。もう少し増やしてほしい。
- ・ 参加申し込みはFAXも可能にして頂けたら助かります。
- ・ 伊丹先生のお話がとても参考になりました。申し込みが速かったので希望通りのコースになりました。
- ・ ホームページが暗い。参加申し込みがネット、ホームページのみで止まる人がいた。
- ・ 教材もの作りは時間がかかりますが、とっても支援学校の子どもたちには有効です。今後も今日みたいに高められれば良いなと思います。
- ・ 今日は午前中に勤務校の研修がありましたので、午後のみ参加可というのはとてもありがたかったです。

これからの研修会についての希望など

- 今回のような研修会を是非またお願いします。夏といわず、年3～4回。
- 竹田契一先生や小田浩伸先生の話をお聴きしたいです。
- WISC-IVの検査はこれからできなくなるかもしれませんが、結果から分かること、よみ方を学べる機会がほしいです。
- 中尾しげき先生、伊丹昌一先生のお話を聞きたい。
- 境界性人格障がいのある子どもへの支援について焦点をあてた研修会を希望します。
(京都の岡田尊司先生等を講師として)
- また伊丹先生のお話を。(何枚かありました)
- 事例を交えた研修会、今回のような実技研修(複数)
- 最新情報(特別支援教育)が得られるもの
- 発達検査(WISC-IV)やABAについての研修
- 小、中、だけでなく高～大学、社会人になってからの大人の発達障がいの例も聞くことができれば。
- SSTの具体的な指導方法、事例をあげて。
- 関西国際大の中尾先生
- 京都大学医学部附属病院船曳康子先生
「発達障害者の特性別適応評価用チャートの開発」
- 今日のような実技研を毎年してほしいです。
- 音楽療法、ウクレレ、ドッグセラピーの活用
- 教材づくりや紹介など
- WISC-IVの紹介や基本的なプロフィールの見方、教材作りの研修